

1:1 【主】のしもべモーセの死後、【主】はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに告げられた。

1:2 「わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたとこの民はみな、立ってこのヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの子らに与えようとしている地に行け。

1:3 わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたが足の裏で踏む場所はことごとく、すでにあなたがたに与えている。

1:4 あなたがたの領土は荒野からあのレバノン、そしてあの大河ユーフラテス川まで、ヒッタイト人の全土、日の入る方の大海までとなる。

1:5 あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。

1:6 強くあれ。雄々しくあれ。あなたはわたしが父祖たちに与えると誓った地を、この民に受け継がせなければならないからだ。

1:7 ただ強くあれ。雄々しくあれ。わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法のすべてを守り行うためである。これを離れて、右にも左にもそれではならない。あなたが行くところどこでも、あなたが栄えるためである。

1:8 このみおしえの書をあなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさめ。そのうちに記されていることすべてを守り行うためである。そのとき、あなたは自分がすることで繁栄し、そのとき、あなたは栄えるからである。

1:9 わたしはあなたに命じたではないか。強

くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたの神、【主】があなたとともにおられるのだから。」

モーセという偉大な指導者を失ったことは、イスラエルにとって大きな不安に違いありません。しかし神様はあっさりとして、その事実を認めるようにイスラエルに迫ります。信仰者は主の導きの確かさを信じて、過去にこだわることなく前進する必要があるのです。

新しい地に行く前に、主はいくつかのことを命令なさいます。一つはヨルダン川を渡りなさいということです。当時はその水かさが多く、簡単に行き来できるような川ではありません。決心して前に進み、そこから後戻りできない状態で、主に従うかがどうかが問われています。

次には勝ち取りなさいということです。行きなさいといっても、そこには異教の民がいるのですから、戦わなければなりません。リスクを恐れずにチャレンジして、努力するのです。

最後には律法と守り行えということです。何のために勝利が約束されているのかというと、それは神様の栄光と勝利のためにです。私たちの人生でいえば、主の愛と主の勝利、そして主の栄光は一つです。主に背いた者が主の栄光にあずかることはできません。

これから新しく前進する人も、すでに前進を始めている人も、これらのことを主の命令として、従いましょう。そしてヨシュアのように勝利をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

